

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	ネットワーク	科目名	情報セキュリティ			科目コード	T1430A5		
配当期	前期・ <u>後期</u> ・通年	授業実施形態	<u>通常</u> ・集中			単位数	4単位		
担当教員名	武井雅英	履修グループ	<u>3A(SI)</u>			授業方法	講義		
学習一般目標	情報漏えい事件や、ネットワークからの攻撃事件など、個人情報保護や情報セキュリティに対する社会全体の認識が高まっております。情報処理安全確保支援士 (IPA Level4)の合格を目指していきながら、ネットワークセキュリティの基礎技術について幅広く学んでいきます。また、授業では、セキュリティのインシデントなどを共有し、学生のセキュリティ意識向上と、対策方法について学んでいきます。								
授業の概要および学習上の助言	身近セキュリティから始まって、家庭内のセキュリティ、スマートフォンのセキュリティとプライバシーを入口に、最新のネットワークセキュリティのトピックスを挙げて行きながら、授業を構成する予定です。学生が積極的な態度で授業に臨んでもらえるよう工夫を行っております								
教科書および参考書	「情報処理安全確保支援士 2017年度版」 上原考之 (著) (授業で利用)								
履修に必要な予備知識技能	ネットワークの基礎知識習得者を対象とする。								
使用機器	特になし。(Note PC、タブレットなど持ち込み利用も構いません)								
使用ソフト	特になし。(講義形式で行う)								
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標							
	1	情報セキュリティ対策について知識・理解を深めていき対策案を説明できたり、実際の実機にてOSやアプリケーション、データの暗号化等のセキュリティ対策を行うことが出来るようになる。							
	2	セキュリティインシデントについて事例をもとに問題点や対策案を明示し、防止策などを講じることが出来るようになる。							
	3	情報セキュリティ分野に関心を持ち意欲をもって取り組めることができる。							
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合				50				50
	学部 D P	1.知識・理解			50				
		2.思考・判断							25
		3.態度							25
		4.技能・表現							
	5.関心・意欲								

	評価方法	評価の実施方法と注意点
評価の要点	試験	試験は行わない。
	クイズ 小テスト	授業中に小テスト（課題）を与えて、知識・理解度を確認していく。
	レポート	レポートの提出 A4 4枚程度
	成果発表 (口頭・実技)	
	作品	
	ポートフォリオ	
	その他	授業への出席、取り組みなどを含め総合的に判断する。

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週	授業概要説明 情報セキュリティ三つの特性、TCP/IP スイッチ、ポートスキャン	講義	
第2週	BOF、パスワード攻撃	講義	
第3週	セッションハイジャック、DNS	講義	
第4週	DoS 攻撃 クロスサイトスクリプティング ディレクトリトラバーサル	講義	
第5週	マルウェア 標的型攻撃	講義	
第6週	電子メール	講義	
第7週	リスクの概念とリスクアセスメント リスクマネジメント BCP	講義	
第8週	ファイアウォール	講義	
第9週	IDS、IPS、WAF サンドボックス	講義	
第10週	認証	講義	
第11週	暗号化	講義	
第12週	演習	講義	
第13週	演習	講義	
第14週	演習	講義	